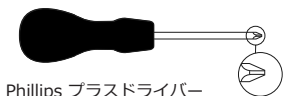


LA822 ハブグレード (HUBGRADE) モデム

INST41310 バージョン02 1/21

部品番号 LA822

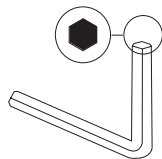
本製品に含まれないもの



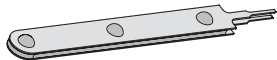
Phillips プラスドライバー



平頭ネジドライバー



アレンキー (6mm)



MOLEX引抜工具

安全衛生に関する注意事項



ラボラトリー設備を設置の際は個人用防護具 (PPE) を着用し、滅菌手袋を使用して汚染を避けてください。



本製品の設置は、有資格者、サービスエンジニア、または、設備責任者が行ってください。



警告！ LA822 ハブグレードモデムを設置する前に電源が遮断されていることを確認してください。



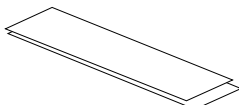
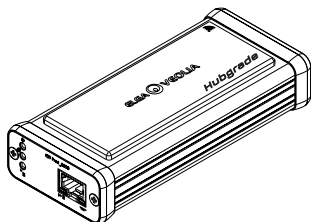
警告！ 電源が水と接触する恐れがないことを確かめてください。

同梱部品リスト

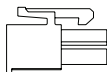
1: 1 X LA822 ハブグレードモデム

2: 固定用面ファスナー X 1

3: マグネット X 1



4: 1 X 2方向 1列コネクタ (オス)
ミニフィットコネクタ

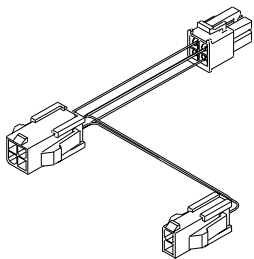


5: 1 X ジャンパー



同梱部品リスト (続き)

6: Quest/Flex ブリッジケーブル - SP1227 (100mm) X 1



警告!

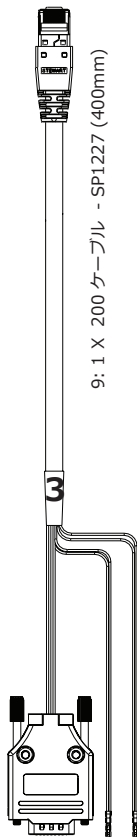
茶/白ケーブルは常に0Vです。
青/白ケーブルは常に+24V



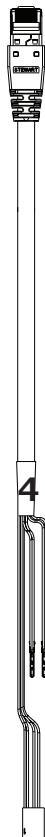
7: 1 X 15/30 ケーブル - SP1227 (470mm)



8: 1 X 30/60/120 ケーブル - SP1227 (755mm)

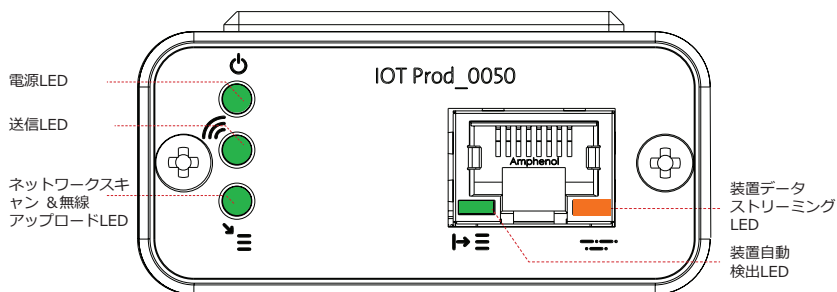


9: 1 X 200 ケーブル - SP1227 (400mm)



10: 1 X Quest / Flex - Chorus ディススペースケーブル - SP1227 (650mm)

LA822 ハブグレードモデム LEDの機能



[電源LED] (緑色 - ステータス: 点灯)
電源がモデムに接続されていることを示します。



[送信LED] (緑色 - ステータス: 点滅)
モデムがモバイルネットワークに接続中で、処理データを送信しています。



[ネットワークスキャン&無線アップロードLED]
(緑 - ステータス - 点滅: ネットワークスキャン、点灯: OTA)

電源投入時の点灯は、最良のネットワーク検出を示しています。LA822モデムは、関連するセルラーネットワークに正しく接続されると、製品ソフトウェアのアップデートを自動的に受信することができます。



[装置自動検出LED] (緑色 - ステータス: 点灯/再起動中のみ点滅)
どの装置にモデムが接続されているか自動検出します。



[装置データストリーミングLED] (オレンジ色 - ステータス: 点滅)
正常なデータ出力を示します。

メイン製品のソフトウェアおよび互換性

注：製品がすべて最新の状態であり、最新のソフトウェアを使用していることを確認してください。

既存システムのソフトウェアのバージョンを調べるには、壁際で電源を切って再度電源を入れるだけで、画面右下に現在のソフトウェアのバージョン番号が表示されます。お使いのソフトウェアのバージョン番号が www.elgalabwater.com/customize のウェブサイトあるいはパートナーネットに記載されているものよりも古い場合は、ソフトウェアを更新してください。

製品	ソフトウェア	互換性
PURELAB Chorus	ウェブサイトからダウンロード可	LA822はモジュラー製品10台までのデータをシステム構成1つにアップロードできます。
PURELAB Flex	ウェブサイトからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
PURELAB Quest	ウェブサイトからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA Pro S	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA Pro R/RE 30/60/120	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA EDI 60/120	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA LPS	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA EDI 15/30	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA R 7/15	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
MEDICA R200 R200	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
CENTRA 60/120	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
CENTRA S/ R200	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
CENTRA RDS	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
BIOPURE R200	Partnetnetからダウンロード可	LA822は製品1台のデータをアップロードできます。
SERVICE.TEST ファイル	https://www.youtube.com/watch?v=5Vz5jYT7vSI&feature=youtu	関連製品のリモートロギング機能を有効にするには、空のUSBにservice.testファイルを追加し、システムに挿入してください。 (該当する場合のみ使用)

15/30L製品

必要な部品：

- 1: 1 X LA822 ハブグレードモデム
- 2: 固定用面ファスナー X 1
- 5: 1 X ジャンパ
- 7: 1 X 15/30 ケーブル

BIOPURE MEDICA MEDICA-R

対象モデル：

BIOPURE - MB015BPM1
BIOPURE - MB015XXM1

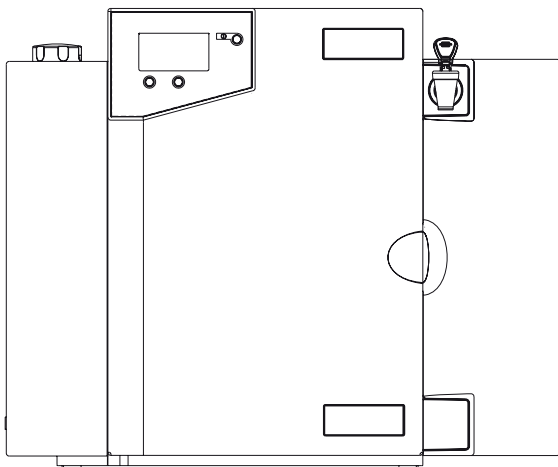
MEDICA - MD015BPM2
MEDICA - MD015XXM2

MEDICA - ME015BPM1
MEDICA - ME015XXM1

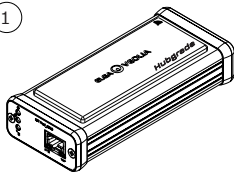
MEDICA - MR015BPM1
MEDICA - MR015XXM1

MEDICA - MRX030BPM1

以前の製品マーク番号に
は対応していません

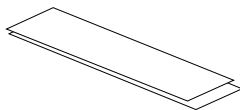


①



1 X LA822 ハブグレードモデム

②



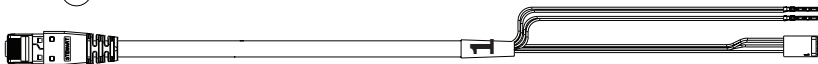
1 X 固定用面ファスナー

⑤



1 X ジャンパ

⑦

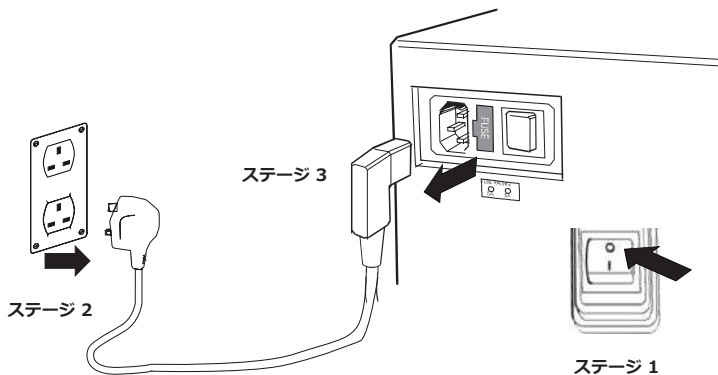


1 X 15/30 ケーブル - SP1227 (470mm)

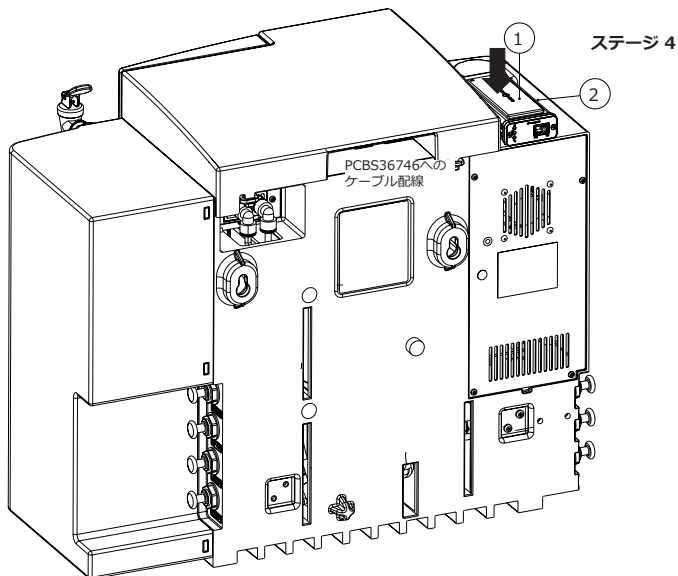
1. 電源を遮断する

⚠ 警告！ 電源ケーブルが水と接触する恐れがないことを確かめてください。

1.電源スイッチをOFFにして、下の図のように電源ケーブルを抜いてください。

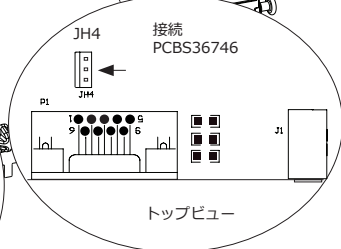
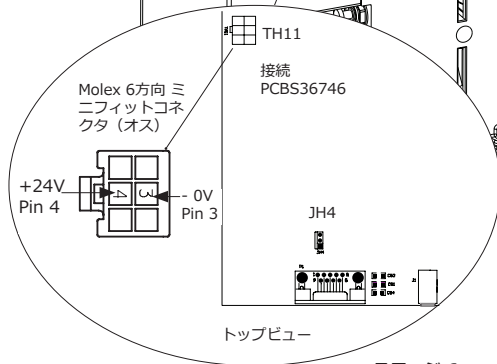
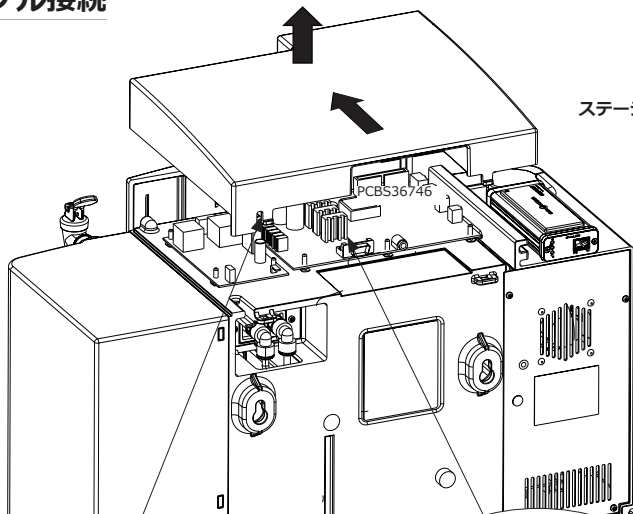


2. 配置



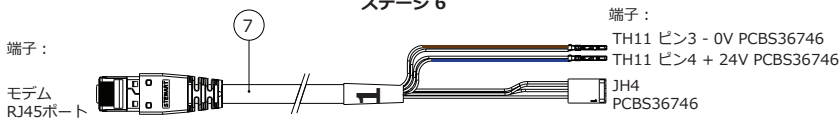
3. ケーブル接続

ステージ 5

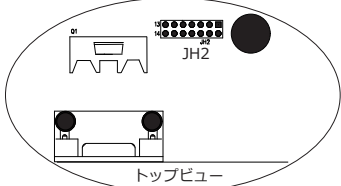


警告 1
 茶/白ケーブルは常に0Vです。
 青/白ケーブルは常に+24V

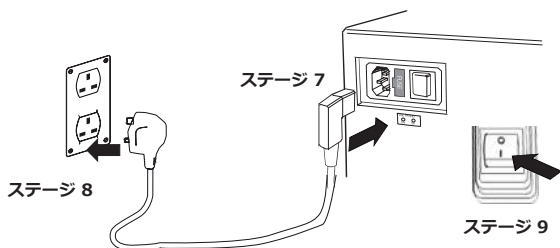
ステージ 6



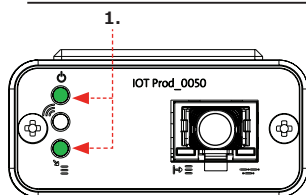
データフローの有効化：
 JH2 上の 5、6 ピンをリンクするには、付属のジャンパ
 を使用してください。



4. 電源を接続しなおす



5. 起動シーケンス&LED識別



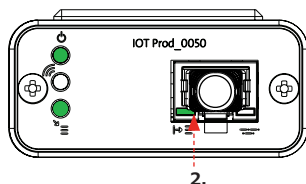
ステージ 10

1. 「電源LED」と「ネットワークスキャンLED」

(グリーン-ステータス-点灯) および (グリーン-ステータス - 点灯 : ネットワークスキャン)

電源がモデムに接続され、セルラーネットワークをスキャンしていることを示します。

表示切り替わり時間：約2秒

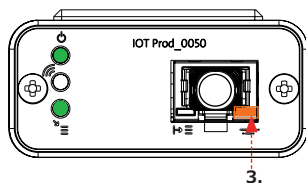


2. [装置自動検出LED]

(緑色 - ステータス : 点灯/再起動中のみ点滅)

どの装置/製品にモデムが接続されているか自動検出します。

表示切り替わり時間：約1~10秒



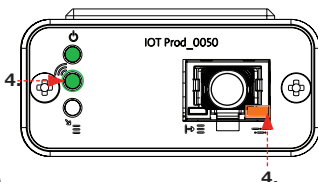
3. [装置データストリーミングLED]

(オレンジ色 - ステータス : 点滅)

モデムが装置のデータストリーミング処理を実行中

表示切り替わり時間：最長18分

ハブグレードサービスにご連絡いただく時間にご利用ください。



4. [送信LED]および[装置データストリーミングLED]

(緑色 - ステータス : 点滅) & (オレンジ色 - ステータス : 点滅)

4Gネットワークに接続すると緑のLEDは1秒ごとに、2Gネットワークに接続すると2秒ごとに点滅します。

Biopure/Medica構成の場合、アンバーLEDが毎秒点滅します。

インストール完了 - ハブグレード管理サービスに連絡

30/60/120L 製品

BIOPURE
CENTRA
MEDICA

必要な部品：

- 1: 1 X LA822 ハブグレードモデム
- 2: 1 X 固定用面ファスナー
- 8: 1 X 30/60/120 ケーブル

対象モデル
モデル：

MEDICA - MP030RBM1
MEDICA - MP030REM1

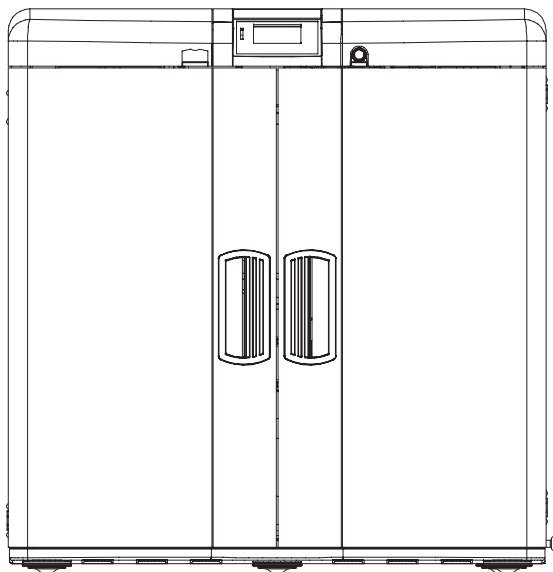
BIOPURE - MB060XXM1
BIOPURE - MB120XXM1

CENTRA - CN120RDM1
CENTRA - CN060RDM1

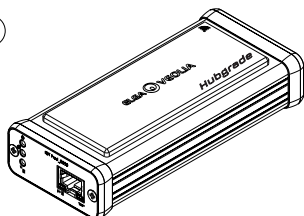
MEDICA - MP060RBM1
MEDICA - MP060REM1
MEDICA - MP060RXM1

MEDICA - MP120RBM1
MEDICA - MP120REM1
MEDICA - MP120RXM1

以前の製品マーク番号
には対応していません

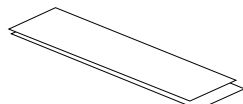


①



1 X LA822 ハブグレードモデム

②



1 X 固定用面ファスナー

⑧

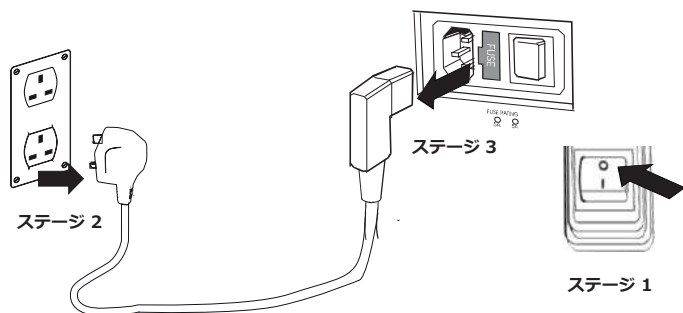


1 X 30/60/120 ケーブル - SP1227 (755mm)

1. 電源を遮断する

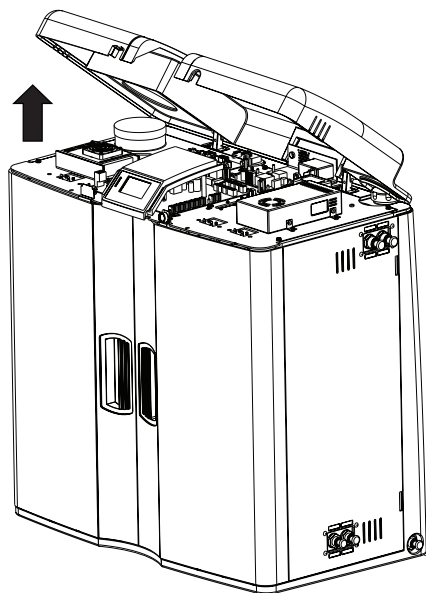
⚠ 警告！ 電源ケーブルが水と接触する恐れがないことを確かめてください。

1.電源スイッチをOFFにして、下の図のように電源ケーブルを抜いてください。



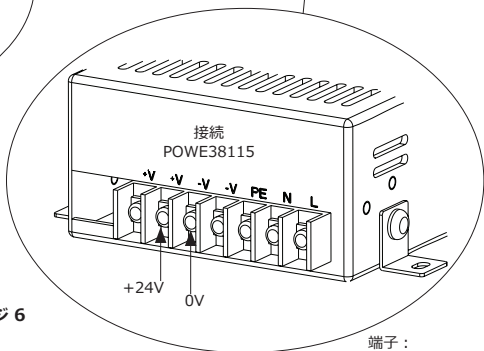
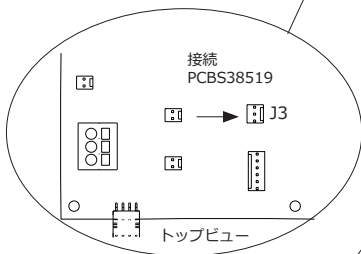
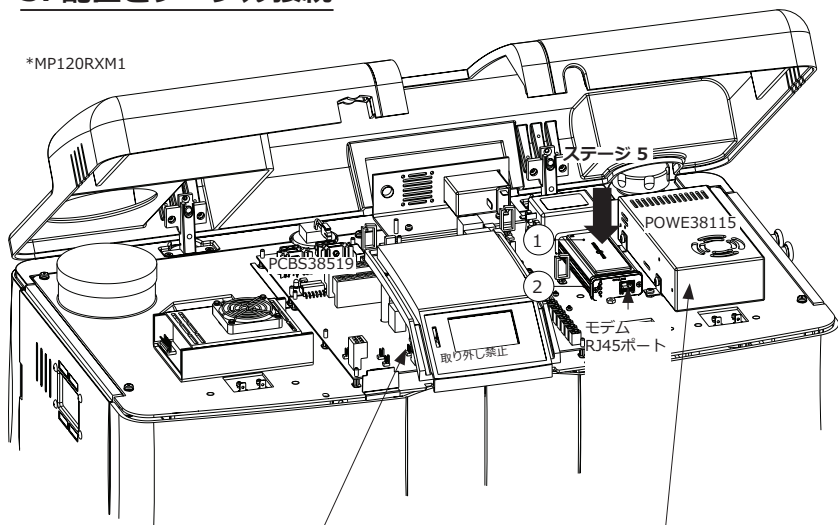
2. アクセスパネルを開く

ステージ 4



3. 配置とケーブル接続

*MP120RXM1

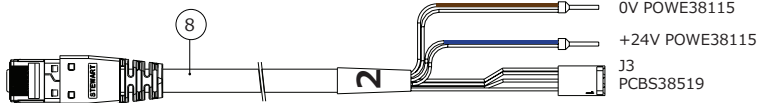


警告!
 茶/白ケーブルは常に0Vです。
 青/白ケーブルは常に+24V

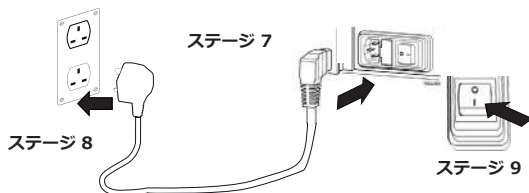
ステージ 6

端子:

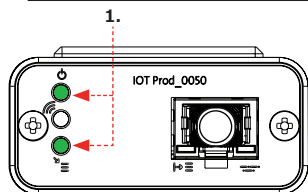
モデム
RJ45ポート



4. 電源を接続しなおす



5. 起動シーケンス&LED識別



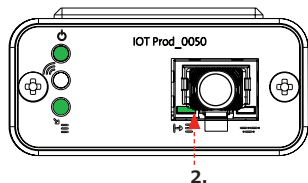
ステージ 10

1. 「電源LED」と「ネットワークスキャンLED」

(グリーン-ステータス-点灯) および (グリーン-ステータス - 点灯 : ネットワークスキャン)

電源がモデムに接続され、セルラーネットワークをスキャンしていることを示します。

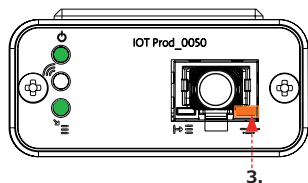
表示切り替わり時間：約2秒



2. [装置自動検出LED]

(緑色 - ステータス : 点灯/再起動中のみ点滅)
どの装置・製品にモデムが接続されているか自動検出します。

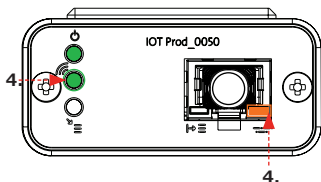
表示切り替わり時間：約1~10秒



3. [装置データストリーミングLED]

(オレンジ色 - ステータス : 点滅)
モデムが装置のデータストリーミング処理を実行中

表示切り替わり時間：最長18分
ハブグレードサービスにご連絡いただく時間にご利用ください。



4. [送信LED]および[装置データストリーミングLED]

(緑色 - ステータス : 点滅) & (オレンジ色 - ステータス : 点滅)

緑のLEDは4GMネットワークに接続すると1秒ごとに、2Gネットワークに接続すると2秒ごとに点滅します。

Biopure/Medica構成の場合、アンバーLEDが毎秒点滅します。

インストール完了 - ハブグレード管理サービスに連絡

200L 製品

必要な部品：

- 1: 1 X LA822 ハブグレードモデム
- 2: 1 X 固定用面ファスナー
- 5: 1 X ジャンパ
- 9: 1 X 200 ケーブル

CENTRA-R BIOPURE MEDICA-R

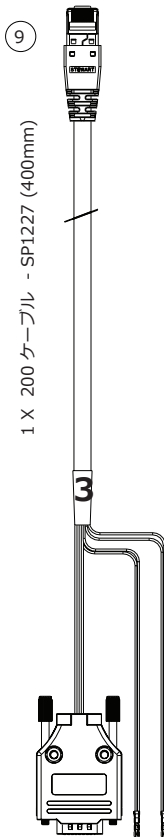
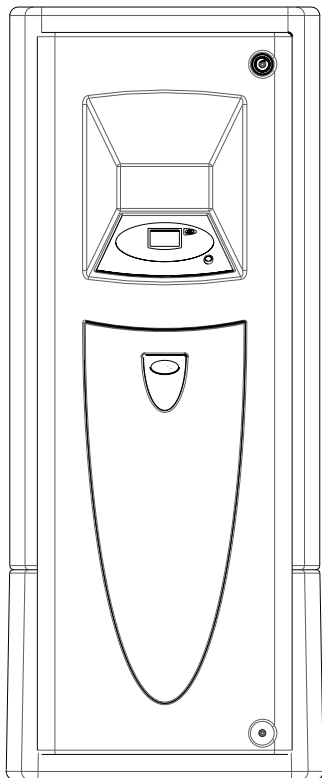
対象モデル
モデル：

CENTRA - CN200RDM1
CENTRA - CNHFRR2M1
CENTRA - CNHFVR2M1
CENTRA - CNHFVRDM1
CENTRA - CNXXRDM1

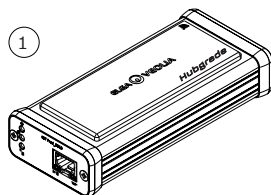
BIOPURE - MB200XXM1
BIOPURE - MB300XXM1

MEDICA - MR200DSM1

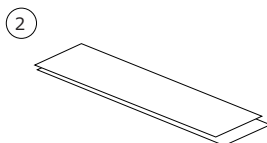
これ以前の
製品認識番号は
互換性がありません



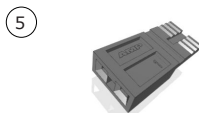
1 X 200 ケーブル - SP1227 (400mm)



1 X LA822 ハブグレードモデム



1 X 固定用面ファスナー

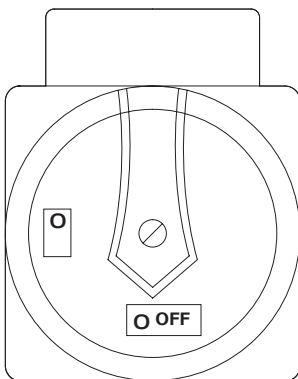


1 X ジャンパ

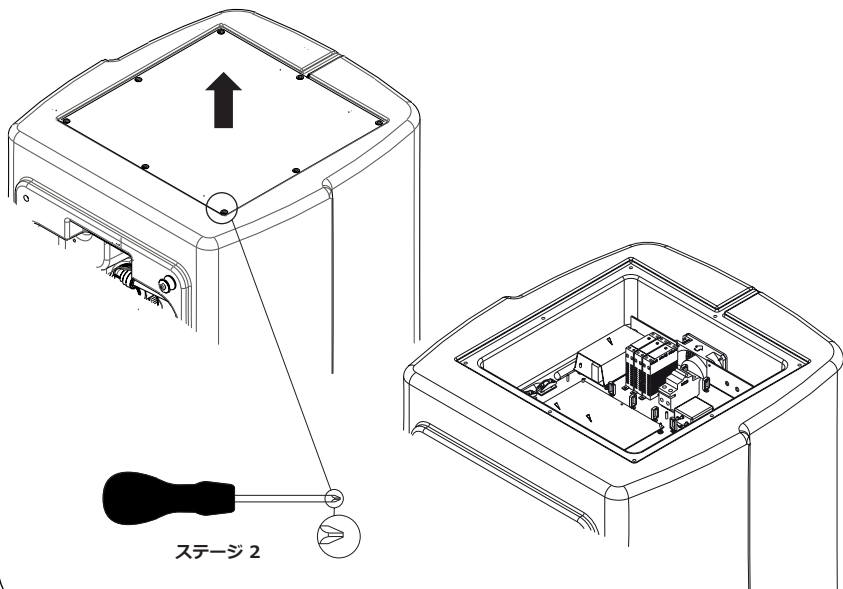
1. 電源を絶縁する

1. 絶縁スイッチをOFFにして、主電源を絶縁してください。

ステージ 1

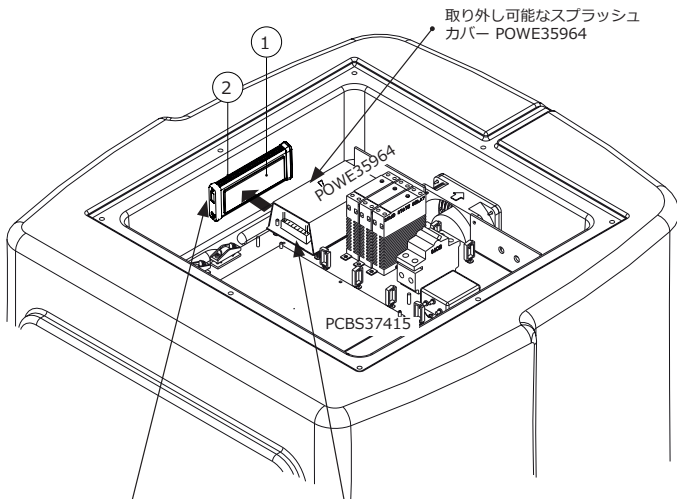


2. アクセスパネルを取り外す



ステージ 2

3. 配置とケーブル接続



取り外し可能なブラッシュ
カバー POWE35964

①

②

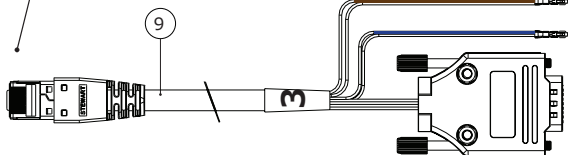
PCBS37415

ステージ 3

警告!
茶/白ケーブルは常に0Vです。
青/白ケーブルは常に+24V

端子:

モデム
RJ45ポート



⑨

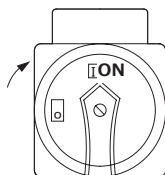
3

端子:
0V ピン7 または黒ケー
ブルPOWE35964に最も
近いもの
+24Vピン2または赤いケ
ーブルPOWE35964に最
も近いもの
P2 シリアルポート
PCBS37415

データフローのアクティベーション - 付属のジャンパを使用して JP2 のピン 9 と 10 をリンクします。
PCBS37415

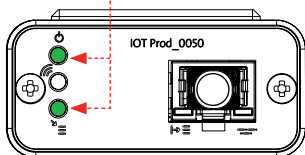
4. 電源を接続しなおす

ステージ 4



5. 起動シーケンス&LED識別

1.



ステージ 5

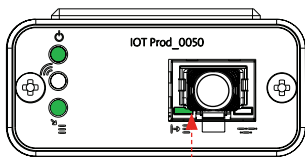
1. 「電源LED」と「ネットワークスキャンLED」

(グリーン-ステータス-点灯) および (グリーン-ステータス - 点灯 : ネットワークスキャン)

電源がモデムに接続され、セルラーネットワークをスキャンしていることを示します。

表示切り替わり時間：約2秒

2.

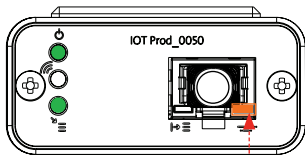


2. [装置自動検出LED]

(緑色 - ステータス : 点灯/再起動中のみ点滅)
どの装置・製品にモデムが接続されているか自動 検出します。

表示切り替わり時間：約1~10秒

3.

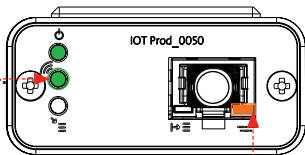


3. [装置データストリーミングLED]

(オレンジ色 - ステータス : 点滅)
モデムが装置のデータストリーミング処理を実行中

表示切り替わり時間：最長18分
ハブグレードサービスにご連絡いただく時間にご利用ください。

4.



4. [送信LED]および[装置データストリーミングLED]

(緑色 - ステータス : 点滅) & (オレンジ色 - ステータス : 点滅)

緑のLEDは4GMネットワークに接続すると1秒ごとに、2Gネットワークに接続すると2秒ごとに点滅しています。

Biopure/Medica構成の場合、アンバーLEDが毎秒点滅します。

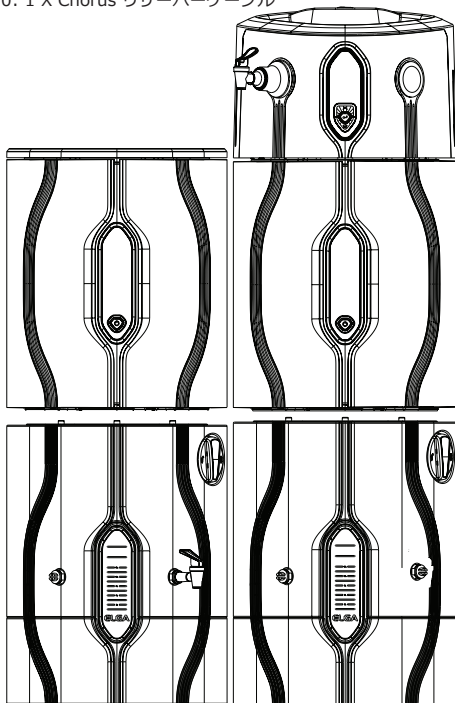
4.

インストール完了 - ハブグレード管理サービスに連絡

CHORUS リザーバー

必要な部品：

- 1: 1 X LA822 ハブグレードモデム
- 2: 1 X 固定用面ファスナー
- 4: 1 x 2 ウェイ 1 列ミニフィットコネクタ
- 10: 1 X Chorus リザーバーケーブル



PURELAB Chorus

2 RO/DI, 3 RO,
1 COMPLETE, 2+

対象モデル
モデル：

Chorus 2 - PC210DIXXM3
Chorus 2 - PC210DIBPM3
Chorus 2 - PC220DIXXM3
Chorus 2 - PC220DIBPM3

Chorus 3 - RO310XXM3
Chorus 3 - RO310BPM3
Chorus 3 - RO320XXM3
Chorus 3 - RO320BPM3
Chorus 3 - RO330XXM3
Chorus 3 - RO330BPM3

Chorus 1 Complete - PC110COXXM1
Chorus 1 Complete - PC110COBPM1
Chorus 1 Complete - PC120COXXM1
Chorus 1 Complete - PC120COBPM1

Chorus 2+ - PC210DUXXM1
Chorus 2+ - PC210DUBPM1
Chorus 2+ - PC220DUXXM1
Chorus 2+ - PC220DUBPM1

Chorus 2+ - PC210EUXXM1
Chorus 2+ - PC210EUBPM1
Chorus 2+ - PC220EUXXM1
Chorus 2+ - PC220EUBPM1

リザーバー - LA757 (15L)
リザーバー - LA758 (30L)
リザーバー - LA759 (60L)
リザーバー - LA760 (100L)

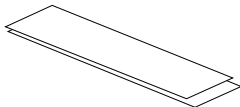
以前の製品マーク番号に
は対応していません

①



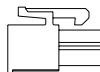
1 X LA822 ハブグレードモデム

②



1 X 固定用面ファスナー

④



1 X 2方向 1列コネクタ (オス)
ミニフィットコネクタ

⑩

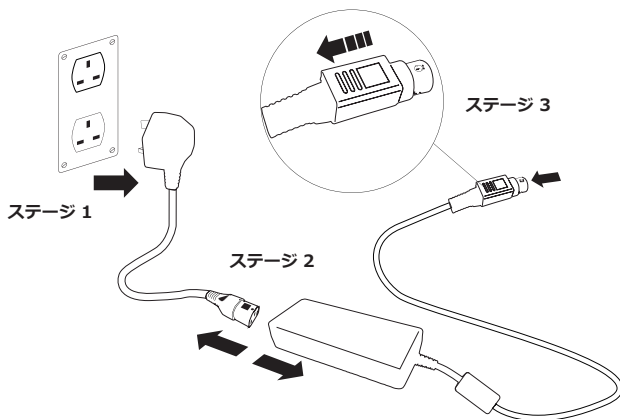


10: 1 X Quest / Flex - Chorus リザーバー - Chorus ディスペンサーケーブル - SP1227 (650mm)

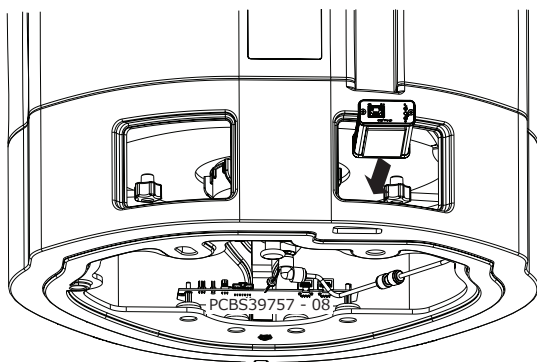
1. 電源を遮断する

⚠ 警告! 電源が水と接触する恐れがないことを確かめてください。

1. スイッチをOFFにして、下の図のように電源を遮断してください。



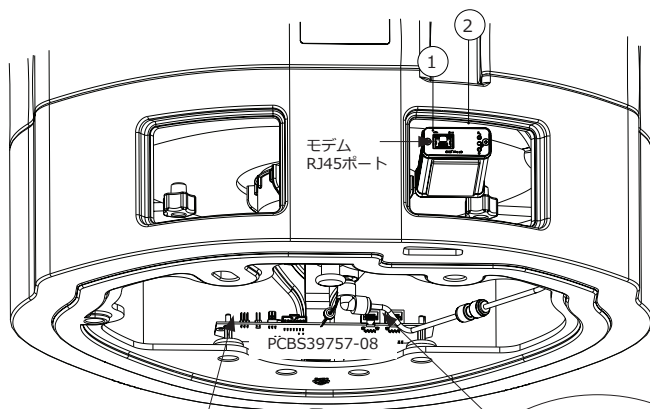
2. 配置



LA757 (15L)
LA758 (30L)
LA759 (60L)
*LA760 (100L)

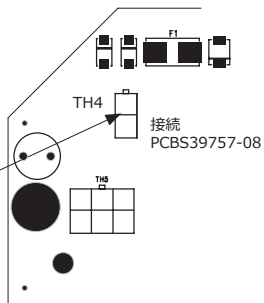
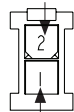
3. ケーブル接続

*LA760 (100L)

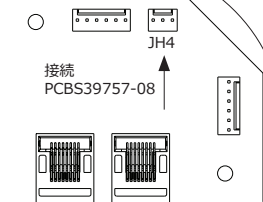


Molex 2方向 ミニ
フィット
コネクタ (オス)

+24V
ピン2
0V
ピン1



トップビュー



トップビュー



警告!
茶/白ケーブルは常に0Vです。
青/白ケーブルは常に+24V

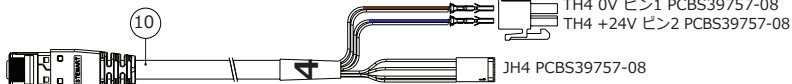
ステージ 5

2方向 1列ミニ
フィットコネクタ
(オス)

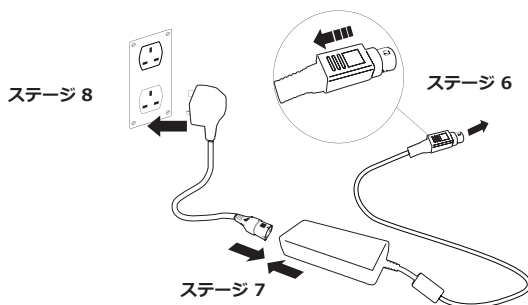
端子:

端子:

モデム
RJ45ポート



4. 電源を接続しなおす



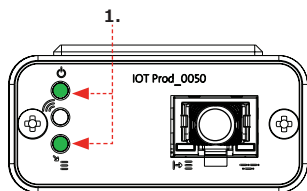
5. データフローのアクティベーション

ステージ 9

1. 空のUSBにSERVICE.TSTファイルを作成します。
2. ご使用のシステム構成のChorus製品いずれかのUSBポートに、USBメモリを挿入します。
3. ディスペンサーまたはChorusのメニューボタンを押してメニューから出た後、エンターボタンを押して再度メニューにアクセスしてください。
4. [Remote Logging (リモートロギング)] [YES (はい)]の順に選択し、エンターを押して確定します。
5. 起動シーケンスおよびLED識別がこの後開始します。次ページを参照の上、設置を完了してください。

6. 起動シーケンス&LED識別

ステージ 10

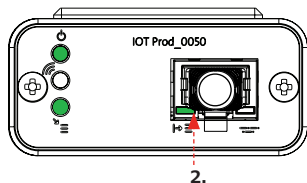


1. 「電源LED」と「ネットワークスキャンLED」

(グリーン-ステータス-点灯) および (グリーン-ステータス - 点灯 : ネットワークスキャン)

電源がモデムに接続され、セルラーネットワークをスキャンしていることを示します。

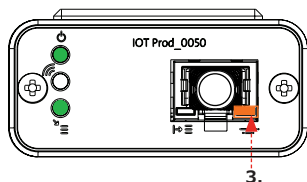
表示切り替わり時間：約2秒



2. [装置自動検出LED]

(緑色 - ステータス : 点灯/再起動中のみ点滅)
どの装置・製品にモデムが接続されているか自動検出します。

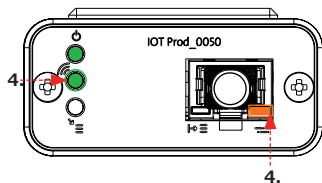
表示切り替わり時間：約1~10秒



3. [装置データストリーミングLED]

(オレンジ色 - ステータス : 点滅)
モデムが装置のデータストリーミング処理を実行中

表示切り替わり時間：最長18分
ハブグレードサービスにご連絡いただく時間にご利用ください。



4. [送信LED]および[装置データストリーミングLED]

(緑色 - ステータス : 点滅) & (オレンジ色 - ステータス : 点滅)

緑のLEDは4GMネットワークに接続すると1秒ごとに、2Gネットワークに接続すると2秒ごとに点滅しています。

Chorus 構成では、アンバー-LEDが2秒ごとに点滅しています。

インストール完了 - ハブグレード管理サービスに連絡

CHORUS ディスペンサー

PURELAB
Chorus

必要な部品：

- 1: 1 X LA822 ハブグレードモデム
- 2: 1 X 固定用面ファスナー
- 10: 1 X Chorus ディスペンサーケーブル

注記：

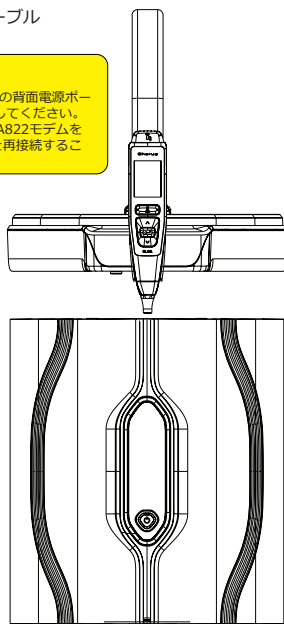
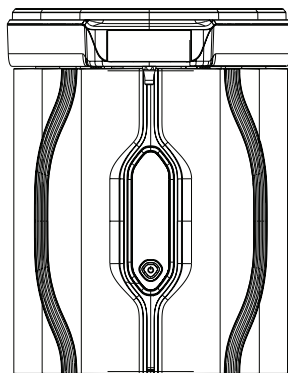
TH4 を使用すると、LA754、LA755、LA756 の背面電源ポート（ポート 6）の使用が制限されることに注意してください。システム構成の最後のHaloディスペンサーにLA822モデムを設置し、ポート6からポート8に電源ケーブルを再接続することを検討してください。

1
対象モデル
モデル：

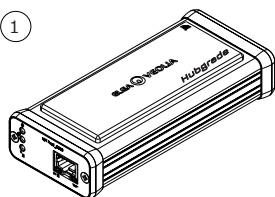
Chorus 1 - PC1ANRXM1
Chorus 1 - PC1LSCXM1
Chorus 1 - PC1GSCXM1

Halo Basic - LA754
Halo Adv - LA755
Halo Flex - LA756

以前の製品マーク番号に
は対応していません

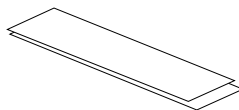


①



1 X LA822 ハブグレードモデム

②



1 X 固定用面ファスナー

⑩

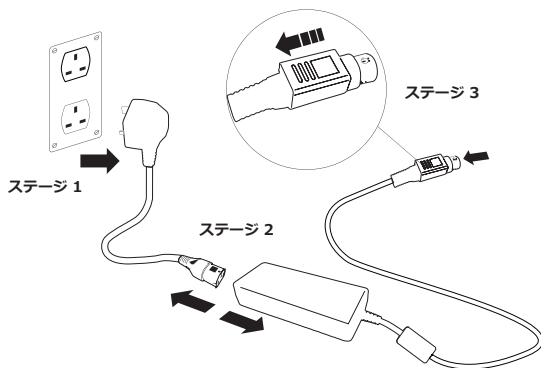


10: 1 X Quest / Flex - Chorus リザーバー - Chorus ディスペンサーケーブル - SP1227 (650mm)

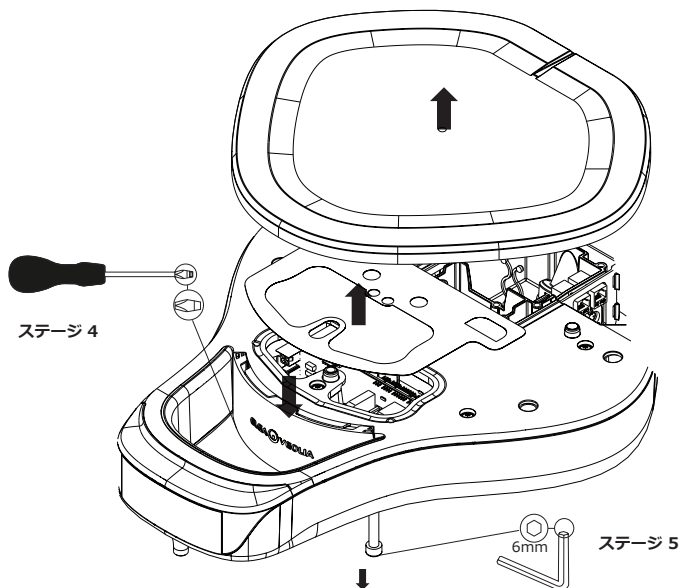
1. 電源を遮断する

⚠ 警告! 電源が水と接触する恐れがないことを確かめてください。

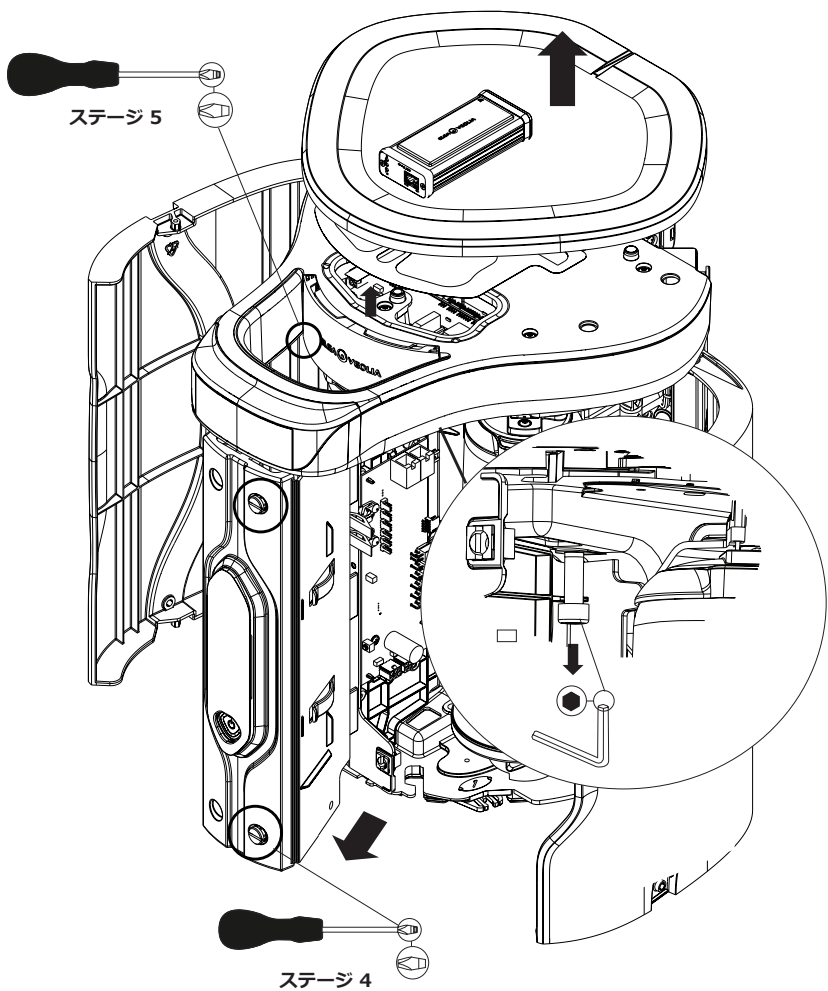
1. スイッチをOFFにして、下の図のように電源を遮断してください。



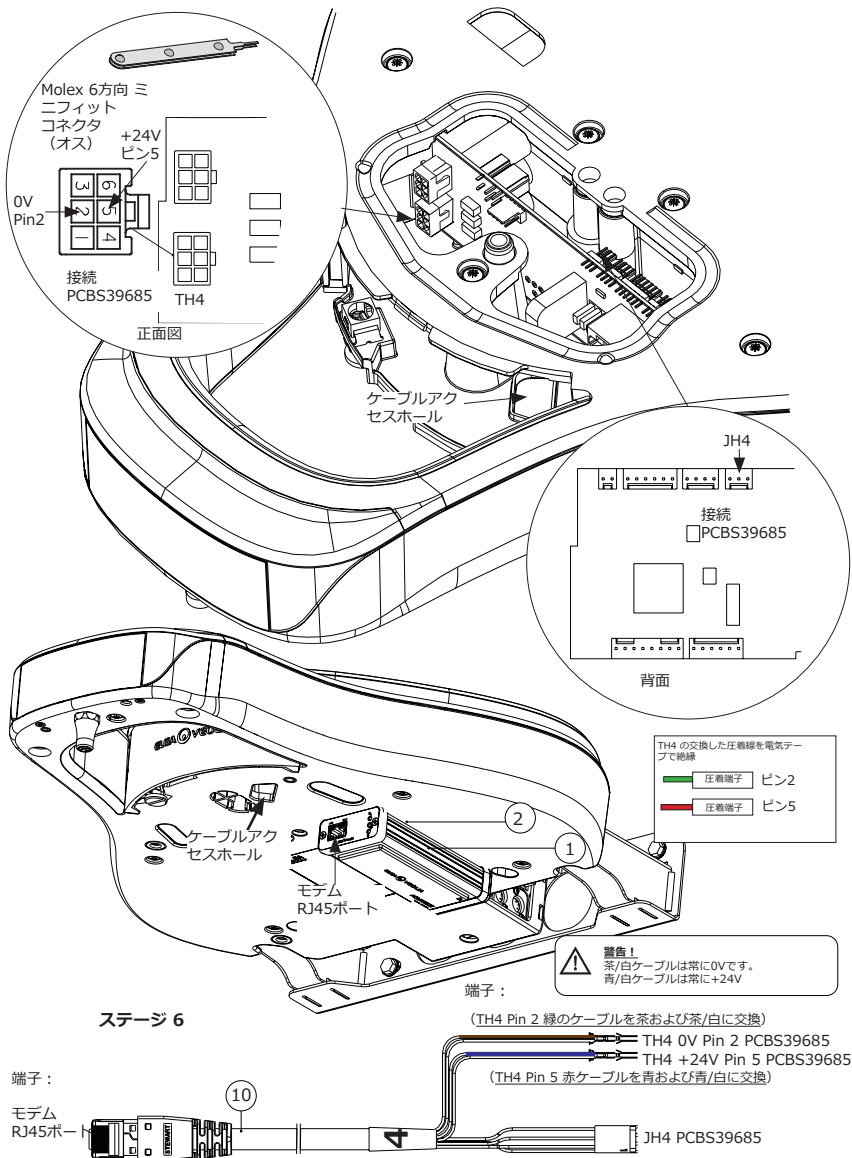
2A. アクセスポネルを取り外す - 壁掛けHALO



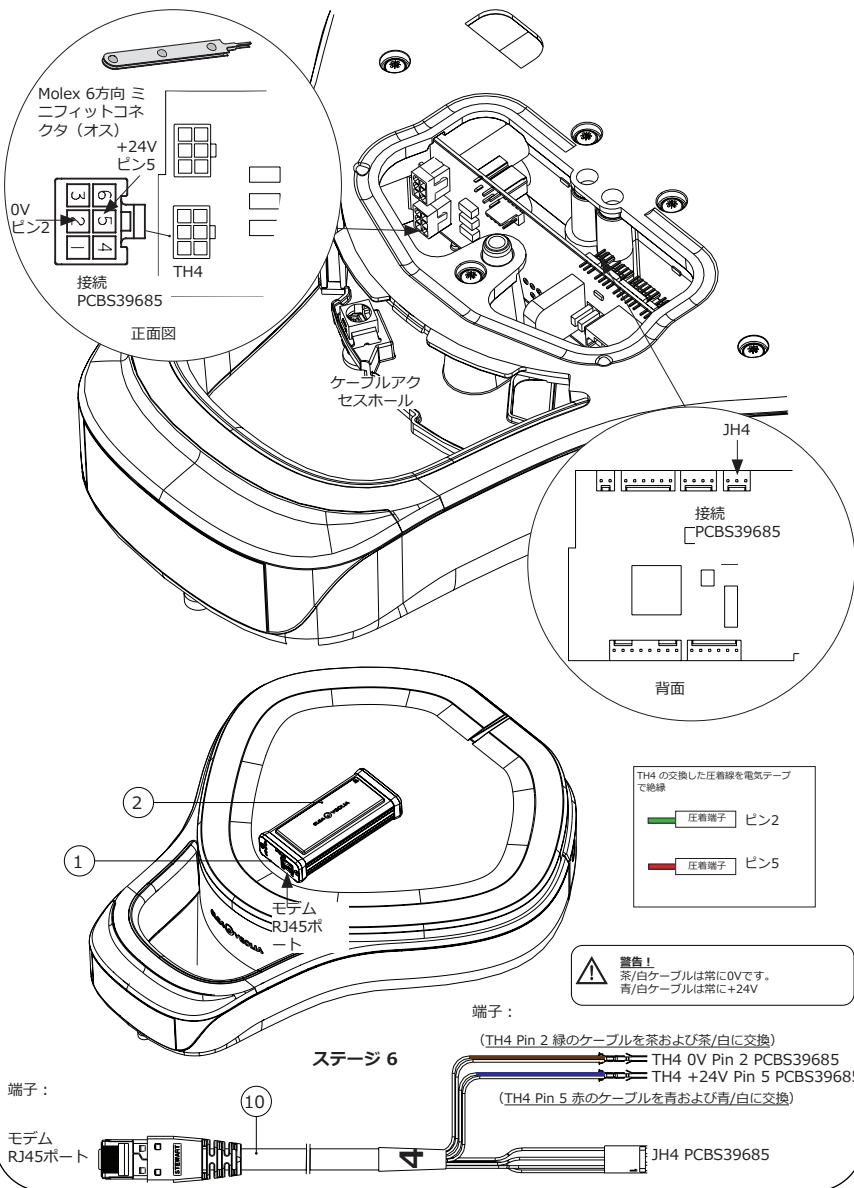
2B. アクセスパネルを取り外す - ベンチマウント型HALO



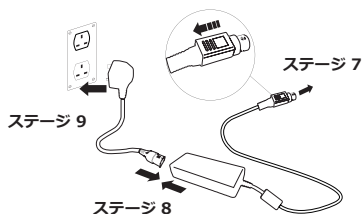
3A. 配置とケーブル接続 - 壁掛けHALO



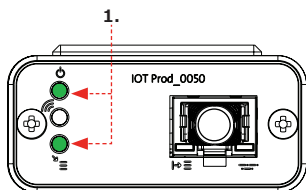
3B. 配置とケーブル接続- 作業台据置きHALO



4. 電源を接続しなおす



5. 起動シーケンス&LED識別



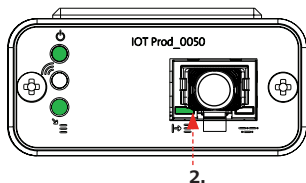
ステージ 10

1. 「電源LED」と「ネットワークスキャンLED」

(グリーン-ステータス-点灯) および (グリーン-ステータス - 点灯 : ネットワークスキャン)

電源がモデムに接続され、セルラーネットワークをスキャンしていることを示します。

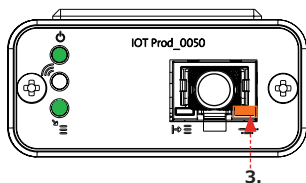
表示切り替わり時間：約2秒



2. [装置自動検出LED]

(緑色 - ステータス : 点灯/再起動中のみ点滅)
どの装置・製品にモデムが接続されているか自動検出します。

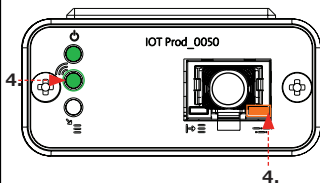
表示切り替わり時間：約1~10秒



3. [装置データストリーミングLED]

(オレンジ色 - ステータス : 点滅)
モデムが装置のデータストリーミング処理を実行中

表示切り替わり時間：最長18分
ハブグレードサービスにご連絡いただく時間にご利用ください。



4. [送信LED]および[装置データストリーミングLED]

(緑色 - ステータス : 点滅) & (オレンジ色 - ステータス : 点滅)

緑のLEDは4Gネットワークに接続すると1秒ごとに、2Gネットワークに接続すると2秒ごとに点滅しています。

Chorus 構成では、アンバー-LEDが2秒ごとに点滅しています。

インストール完了 - ハブグレード管理サービスに連絡

FLEX/QUEST製品

必要な部品：

- 1: 1 X LA822 ハブグレードモデム
- 2: 1 X 固定用面ファスナー
- 4: 1 x 1 x 2 方向 1 列ミニフィットコネクタ (オス)
- 6: ブリッジケーブル X 1
- 10: 1 X Quest および Flex ケーブル

PURELAB
flex

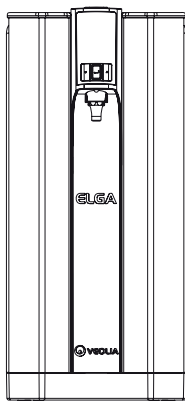
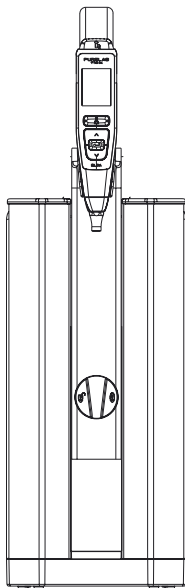
PURELAB
Quest

対象モデル
モデル：

- Flex 1 - PF1XXXXM2
- Flex 2 - PF2XXXXM2
- Flex 3 - PF3XXXXM2
- Flex 4 - PF4XXXXM2
- Flex 5 - PF5XXXXM2
- Flex 6 - PF6XXXXM2

以前の製品マーク番号
には対応していません

- Quest - PQDIUVM1
- Quest - PQDIXM1



10

1 X Quest / Flex - Chorus リザーバー - Chorus デバイスケーブル - SP1227 (650mm)

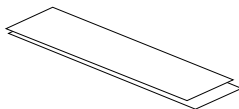


1



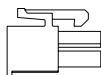
1 X LA822 ハブグレードモデム

2



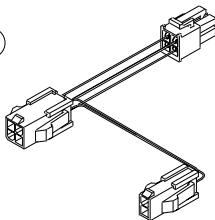
1 X 固定用面ファスナー

4



1 X 2方向 1列コネクタ (オス)
ミニフィットコネクタ

6

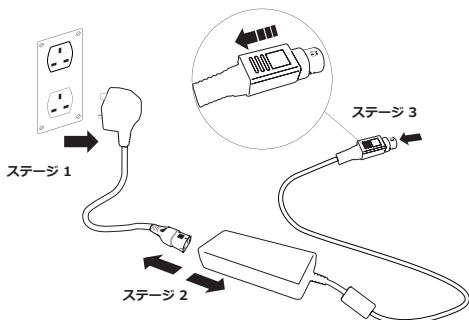


ブリッジケーブル X 1

1. 電源を遮断する

⚠ 警告！ 電源が水と接触する恐れがないことを確かめてください。

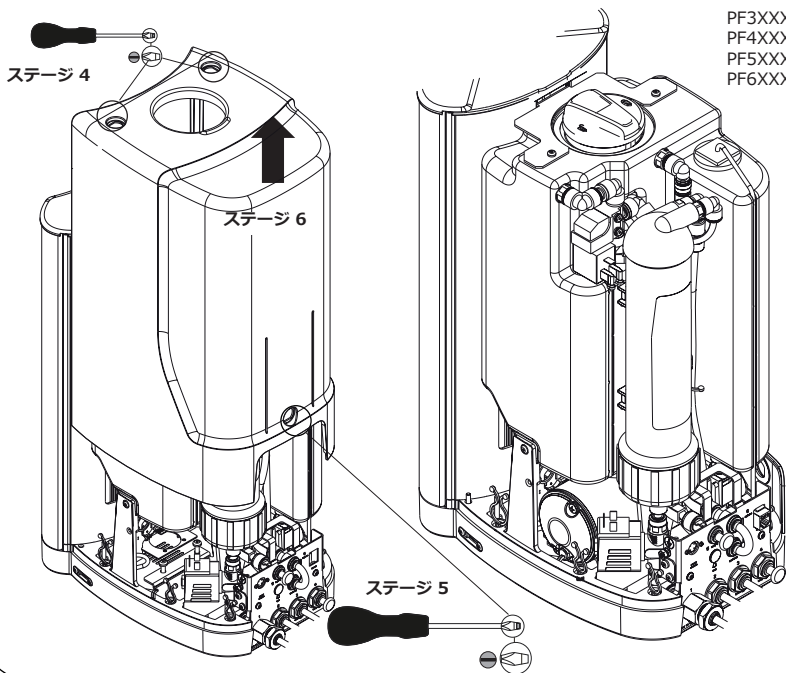
1. スイッチをOFFにして、下の図のように電源を遮断してください。



2A. アクセスパネルを取り外す

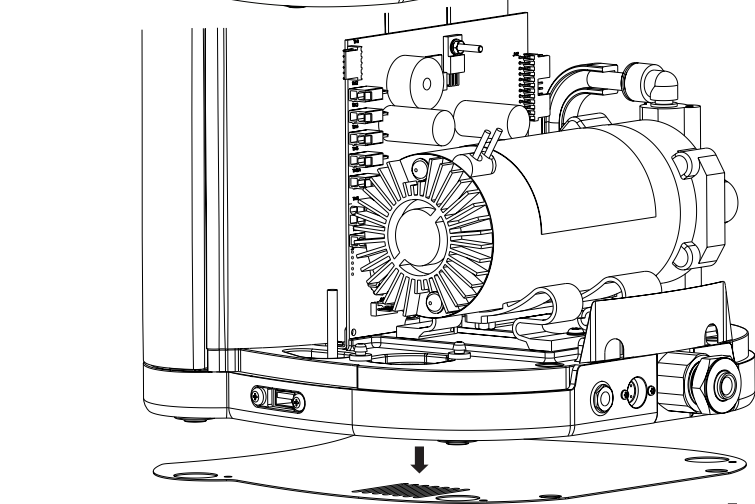
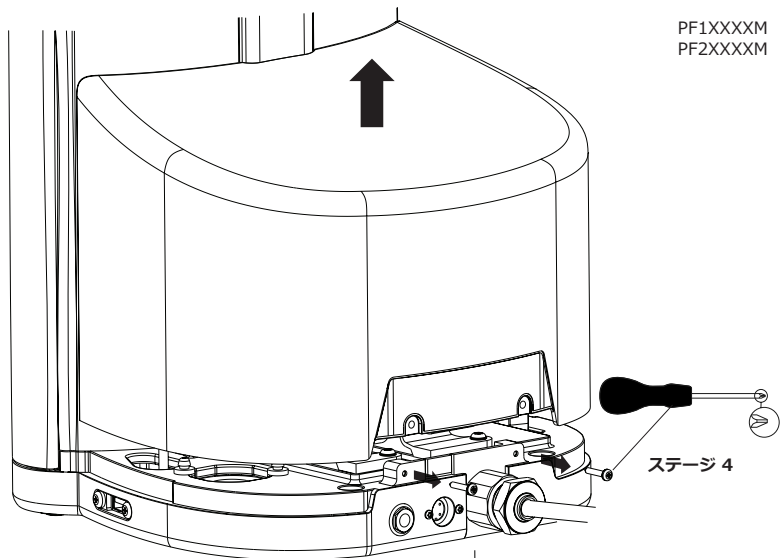
PQDIUVM
PQDIXXM

PF3XXXXM
PF4XXXXM
PF5XXXXM
PF6XXXXM

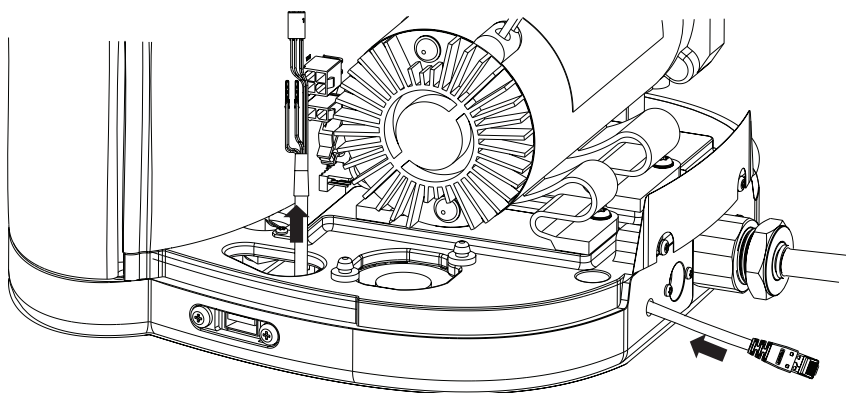
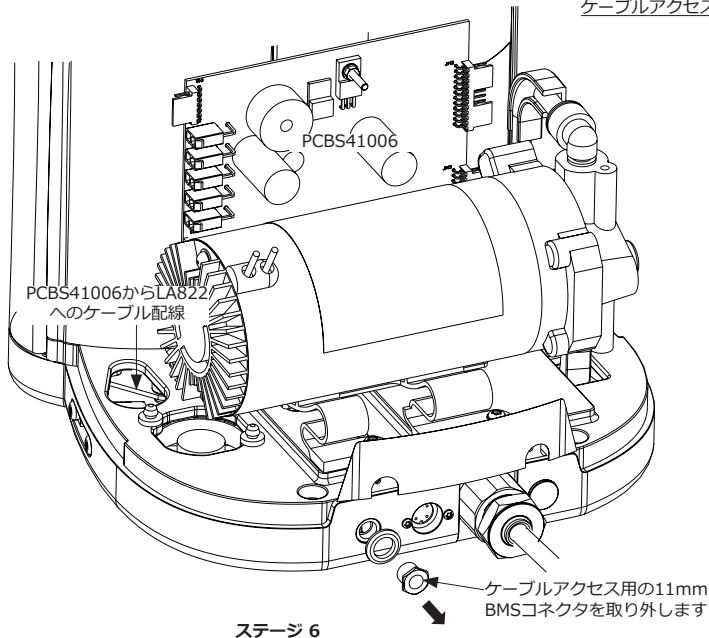


2B. アクセスポネルを取り外してケーブルを配線

PF1XXXXM
PF2XXXXM



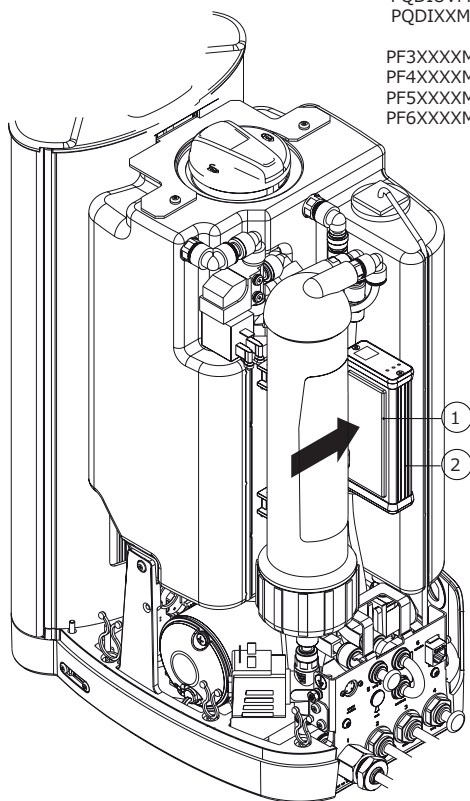
PF1XXXMとPF1XXXMのみの
ケーブルアクセス



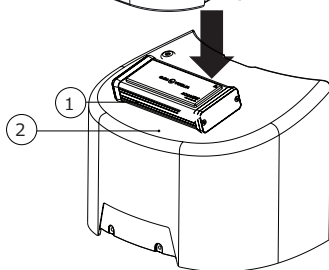
3. 配置

PQDIUVM
PQDIXXM

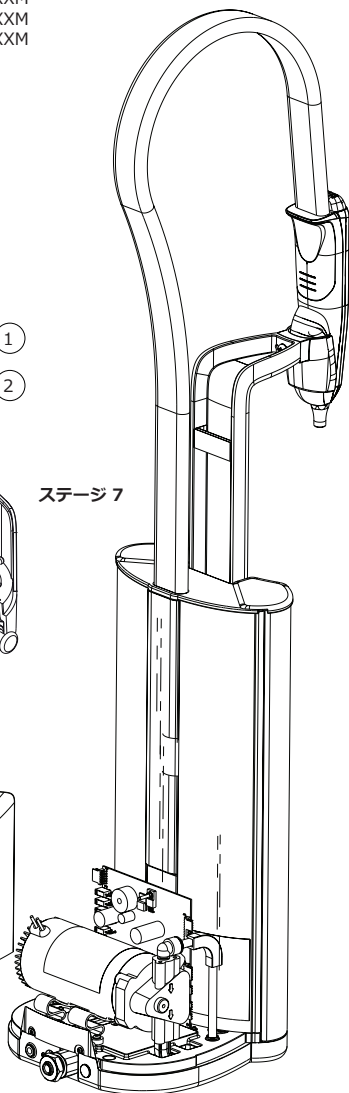
PF3XXXXM
PF4XXXXM
PF5XXXXM
PF6XXXXM



ステージ 7



PF1XXXXM
PF2XXXXM



4A. ケーブル接続

PQDIUVM
PQDIXXM

PF3XXXXM
PF4XXXXM
PF5XXXXM
PF6XXXXM

PCBS41006

ステージ 8

6

TH6 PCBS41006 から取り外された 4 方向
2 列のミニフィット (オス) コネクタをこ
ここに挿入して下さい。

TH6の既存ケーブルコネクタをクリップ
で外し、4方向2列ミニフィットコ
ネクタ (オス) のブリッジケーブルを
TH6に挿入。

ブリッジケーブル

PURELAB Flex および Quest モデム ケ
ーブルから 2 ウェイ 1 列ミニフィット
のオスコネクタをここに挿入します。

(4A. ケーブル接続続き) を参照)

4A. ケーブル接続 (続き)

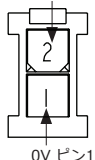
PQDIUVM
PQDIXXM

PF3XXXXM
PF4XXXXM
PF5XXXXM
PF6XXXXM

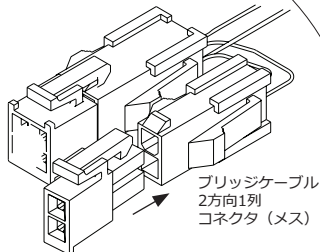
モデム RJ45ポート

PCBS41006

2方向1列
Mini Fit (オス)
コネクタ (オス)
+24V ピン2



0V ピン1



ブリッジケーブル
2方向1列
コネクタ (メス)

PURELABからの2方向 ミニフィッ
トコネクタ (オス) を挿入

Flex と Quest のモデムケーブル
を、Bridgingケーブルに接続。



警告!

茶/白ケーブルは常に0Vです。
青/白ケーブルは常に+24V

ステージ 9

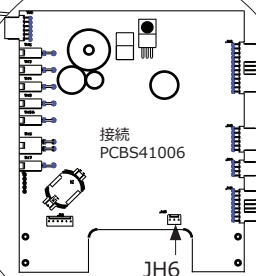
端子:

モデム
RJ45ポート



端子:

2 方向 1 列 ミニフィ
ットコネクタ (オス)



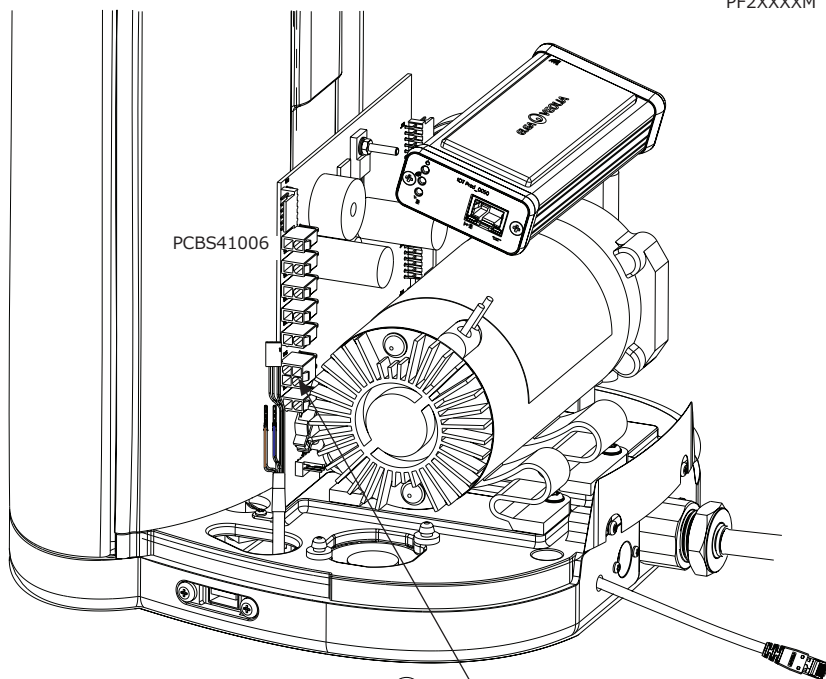
接続
PCBS41006

JH6

正面図

4B. ケーブル接続

PF1XXXXM
PF2XXXXM



PCBS41006

6

ステージ 8

TH6の既存ケーブルコネクタをクリップで外し、4方向2列コネクタ（オス）のブリッジケーブルをTH6に挿入。

TH6 PCBS41006から取り外した4ウェイ2列のオスコネクタをここに挿入します。

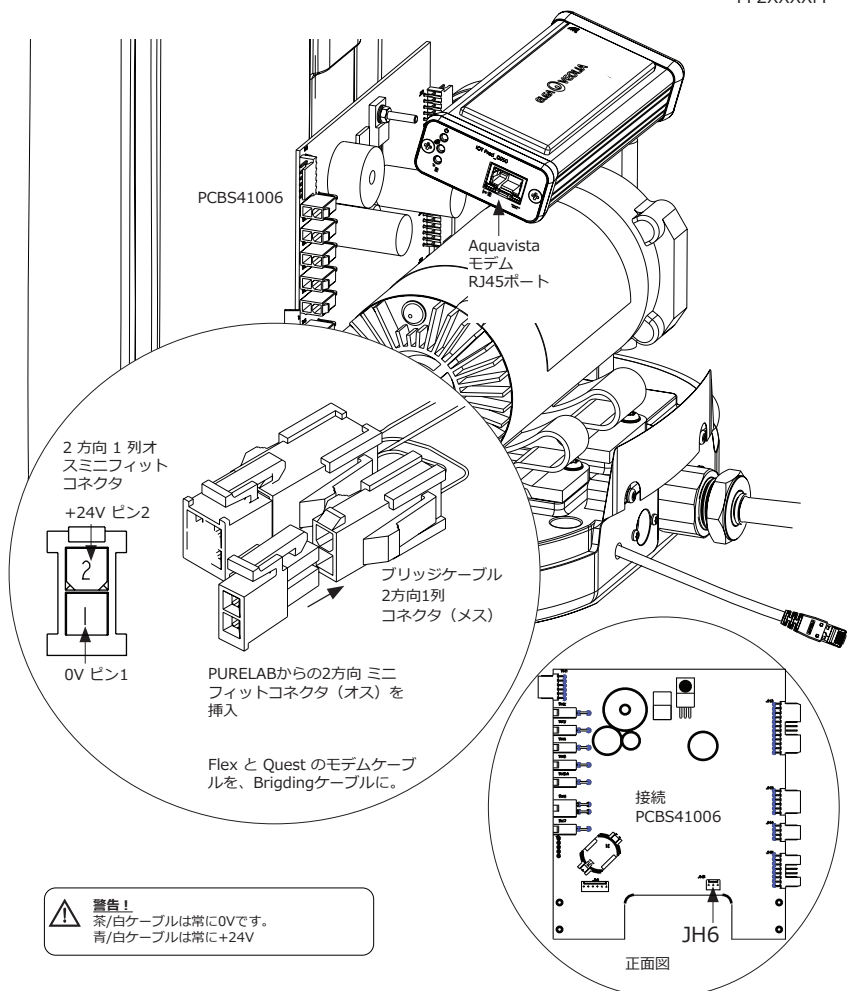
ブリッジケーブル

ここにPURELAB FlexおよびQuestモデムケーブルから2方向1列ミニフィットコネクタ（オス）を挿入します。

(4B. ケーブル接続「続き」を参照)

4B. ケーブル接続 (続き)

PF1XXXXM
PF2XXXXM



警告!

茶/白ケーブルは常に0Vです。
青/白ケーブルは常に+24V

ステージ 9

端子 :

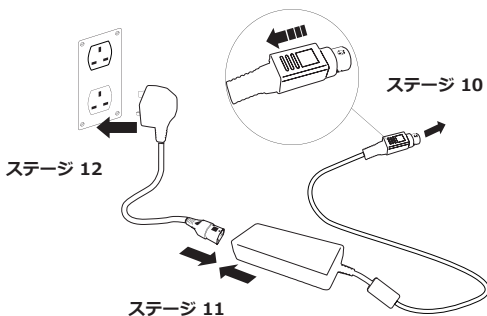
モデム
RJ45ポート



端子 :

2方向1列ミニフ
ィットコネクタ (オス)

5. 電源を接続しなおす



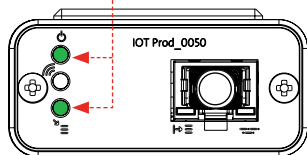
6. データフローのアクティベーション

ステージ 13

1. 空のUSBにSERVICE.TSTファイルを作成します。
2. ご使用のシステム構成のFlexまたはQuest製品いずれかのUSBポートに、USBメモリを挿入します。
3. FlexまたはQuestのメニューボタンを押してメニューを終了後、エンターボタンを押して再度メニューにアクセスしてください。
4. [Remote Logging (リモートロギング)] [YES (はい)]の順に選択し、エンターを押して確定します。
5. 起動シークエンスおよびLED識別がその後開始します。次ページを参照の上、設置を完了してください。

7. 起動シーケンス&LED識別

1.



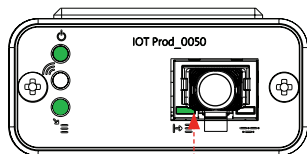
ステージ 14

1. 「電源LED」と「ネットワークスキャンLED」

(グリーン-ステータス-点灯) および (グリーン-ステータス - 点灯 : ネットワークスキャン)

電源がモデムに接続され、セルラーネットワークをスキャンしていることを示します。

表示切り替わり時間：約2秒

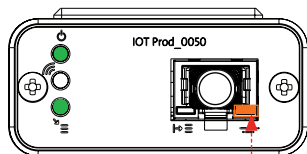


2. [装置自動検出LED]

(緑色 - ステータス : 点灯/再起動中のみ点滅)

どの装置/製品にモデムが接続されているか自動検出します。

表示切り替わり時間：約1~10秒



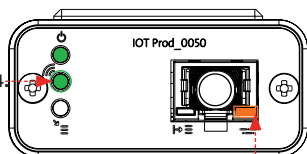
3. [装置データストリーミングLED]

(オレンジ色 - ステータス : 点滅)

モデムが装置のデータストリーミング処理を実行中

表示切り替わり時間：最長18分

ハブグレードサービスにご連絡いただく時間にご利用ください。



4. [送信LED]および[装置データストリーミングLED]

(緑色 - ステータス : 点滅) & (オレンジ色 - ステータス : 点滅)

4GMネットワークに接続すると緑のLEDは1秒ごとに、2Gネットワークに接続すると2秒ごとに点滅します。

Flex または Quest 構成の場合、アンバー LED が 5 秒ごとに点滅します。

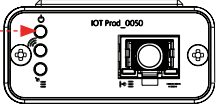
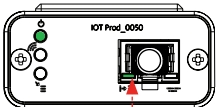
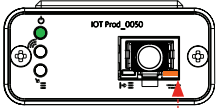
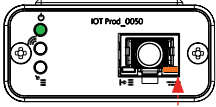
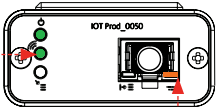
インストール完了 - ハブグレード管理サービスに連絡

トラブルシューティングアドバイス

トラブルシューティングアドバイス - 設置の問題

接続	説明	機能	確認事項/対処方法
システムソフトウェア	モデムと互換性があるELGA VEOLIAシステムの最新版ソフトウェア	モデムが接続中であることを検出し、関連データを送信します。	互換性のある適切なソフトウェアを使用していること、更新が必要であるかを確認してください。
モデムの電源接続	電源/PCBからモデムへの24VDC電力接続	モデムに電源を供給します。	ケーブルの設定、接続、コネクタ接続が正しく行われているか確認してください。各接続部の電力と電流の安定性を測定してください。
ELGA VEOLIAシステムの電力接続	電源/PCBからモデムへの24VDC電力接続	モデムに電源を供給します。	PCB接続が有効で、互換性があることを確かめてください。ケーブルの設定、接続、コネクタ接続が正しく行われているか確認してください。
			各接続部の電力と電流の安定性を測定してください。
モデムのデータ接続	ELGA VEOLIA製品のPCBをモデムのデータコネクションに接続します。	ELGA VEOLIA製品のPCBからモデムへデータを送信します。	ケーブルの設定、接続、コネクタ接続が正しく行われているか確認してください。各接続部の電力と電流の安定性を測定してください。
ELGA VEOLIAシステムのデータ接続	ELGA VEOLIA製品のPCBをモデムのデータコネクションに接続します。	ELGA VEOLIA製品のPCBからモデムへデータを送信します。	PCB接続が有効で、互換性があることを確かめてください。ケーブルの設定、接続、コネクタ接続が正しく行われているか確認してください。各接続部の電力と電流の安定性を測定してください。

トラブルシューティングアドバイス - 設置後の問題

LED	問題	機能	確認事項/対処方法
	[電源LED]が点灯していない	ステータス：緑色のLEDが点灯 電源がLA822に接続されていることを示します。	ELGA VEOLIAシステムまたは製品の電源が入り、ケーブルがLA822に正しく接続されていることを確かめてください。
	[装置自動検出LED]が再起動中に点滅しない	ステータス：緑色のLEDが点灯/再起動中のみ点滅 どの装置・製品にLA822が接続されているか自動検出します。	ELGA VEOLIAシステムまたは製品のソフトウェアが最新バージョンに更新されているか確認してください。 ケーブル接続図を参照し、ケーブルがLA822に正しく接続されていることを確認してください。
	[装置データストリーミングLED]が点滅しない	ステータス（オレンジ色のLED）：Medicaでは毎秒点滅PURELAB Flex/Chorusでは5秒ごとに点滅 装置のデータストリーミング処理中	ELGA VEOLIAシステムまたは製品のソフトウェアが最新バージョンに更新されているか確認してください。 ケーブル接続図を参照し、ケーブルがLA822に正しく接続されていることを確認してください。
	[装置データストリーミングLED]が点灯中	ステータス（オレンジ色のLED）：Medicaでは毎秒点滅PURELAB Flex/Chorusでは5秒ごとに点滅	36ページのマグネット起動の手順に従ってください。
	[送信LED]および[装置データストリーミングLED]	モデムがモバイルネットワークに接続中で、データストリーミング送信を実行しています。 LED2つが点滅 例えばMedicaの場合：両方...4Gネットワークに接続中は、両方のLEDが毎秒点滅します。2Gネットワークに接続中は、緑色のLEDは2秒ごとに点滅、オレンジ色のLEDは毎秒点滅します。	LA822は正常に作動しています。ハブグレードサイトのシステムデータとパラメータを確認してください。

トラブルシューティングアドバイス - 設置後の問題

LED	問題	機能	確認事項/対処方法
	[無線アップロードLED]	<p>ステータス：緑色のLEDが点滅</p> <p>モデムの自動更新中またはLA822の最新ファームウェアを検出中</p>	<p>LA822のソフトウェア更新中のみ点滅します。</p> <p>手動リセット後は点滅し、更新が進捗中であることを示します。LEDが点滅しているだけの時は、モデムのアップロードが可能です。</p>
	[Over The Air アップロードLED]が点灯している	<p>ステータス：緑色のLEDが点滅</p> <p>モデムの自動更新中またはLA822の最新ファームウェアを検出中</p>	<p>利用可能なネットワークをスキャンし、6分間の3つのルーチンで、スキャンの自動再起動の前に合計で18分かかります。利用可能なネットワークがない場合は、この状態のままになります。LTE-Mまたは2Gネットワークが利用可能であることを確認します。</p>

マグネット再起動の手順



警告！
このソリューションは30分に一度、アルミカバーの外側で実施する必要があります。
LA822 ハブグレードモデムを開かないでください。



マグネット X 1

ここでは設置や接続に問題が生じた際、装置を手動で再起動する方法を説明します。

1. 付属のマグネットまたは適当な代用品を配置します。
2. モデム設置箇所（モデルにより異なります）にアクセスします。
3. モデムがどの電源からも離れたところに設置されていることを確かめてください。
4. マグネットを背面からハブグレードモジュール前面の左側に移動させます。（電源LEDがある側）
緑色とオレンジのLEDが交互に点滅していれば、リセットが正常に行われたことを示します。
モデムを再起動してください。この処理は、ネットワークの強度が十分でない場合には、最大18分かかることがあります。
6. 正常な再起動が完了すると、モデムは通常の作動を開始します。
7. 必要に応じてモデムを適切な位置に配置しなおしてください。
8. 製品のカバーをすべて閉じるか、はめ直してください。

これで手順完了です。

インストールの問題

インストール/機能しない
モデム

トラブルシューティング
のアドバイスに従って
ください

保証または交換が必要

モデムは機能するが接続
またはデータなし

トラブルシューティングの
アドバイスに従って
ください

お近くのヴェオリア・ハブグレード
(Veolia Hubgrade) スペシャリスト
に連絡してください。今すぐサ
ービス経由でチケットを作成します。

言語

他の言語をダウンロードするには、QRコードをスキャン後、以下のPINコードを入力してください：1937



Hubgrade

(お問い合わせ先 - ここにラベルを加える)

(設置に関するご質問は、ハブグレード (Hubgrad) にお問い合わせください)



ラボウォーターのスペシャリスト

エルガ (ELGA) はヴェオリア (VEOLIA) のグローバルラボラトリーウォーターのブランド名です。

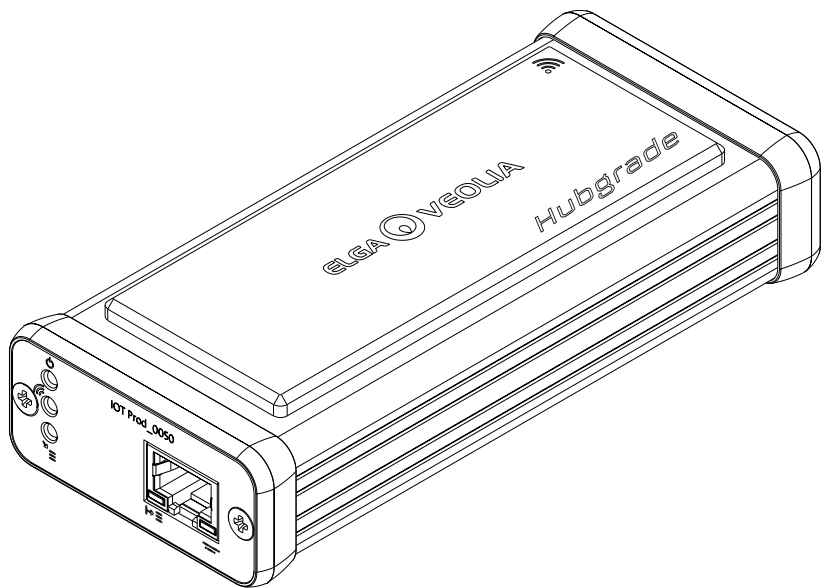
本文書に記載されている情報は、ELGAとして取引しているVEOLIA (英国)の所有物であり、誤りや不作為に対して責任を負うことなく提供されています。© VEOLIA (UK)

2021 - 禁無断転載

ELGA®, PURELAB®, MEDICA®, BIOPURE®, CENTRA®は、VEOLIA (UK)の登録商標です。

電話: +44 203 567 7300 Eメール: info@elgalabwater.com 公式サイト: www.elgalabwater.com

(製品の保証やソフトウェアに関するご質問は、ELGA VEOLIAにお問い合わせください)



LA822 モデム
INST41310 バージョン 1/21
部品番号 LA822